

患者さんの安全を他職種で ～当院での取り組みから～

山形県立新庄病院
医事経営相談課
医療安全管理主査
二戸 みどり

本日の内容

1. 当院の概要
2. 機能評価受診を受けて
3. インシデント及びアクシデント
4. 看護部の取り組み
5. 他職種との取組み
6. 地域との共同事例より



山形県立新庄病院
Yamagata Prefectural Shinjo Hospital

最上地域の基幹病院として2次医療を提供しております。
病床数388床（休棟1病棟）
医師 46名 看護師 292名 等 全職員 468名

新庄病院憲章

- わたくしたちは患者さんの生命を尊重し、次の三つの理念をもって、最上地域の良質な医療の確保と充実に努めます。
1. 「仁」の心をもって、患者さんの満足と安心が得られる医療に努めます。
 2. 「愛」の心をもって、患者さんの人格を尊重し、最善の医療を尽くします。
 3. 「和」の心をもって、職員の融和と地域の医療・保険・福祉の連携を図ります。

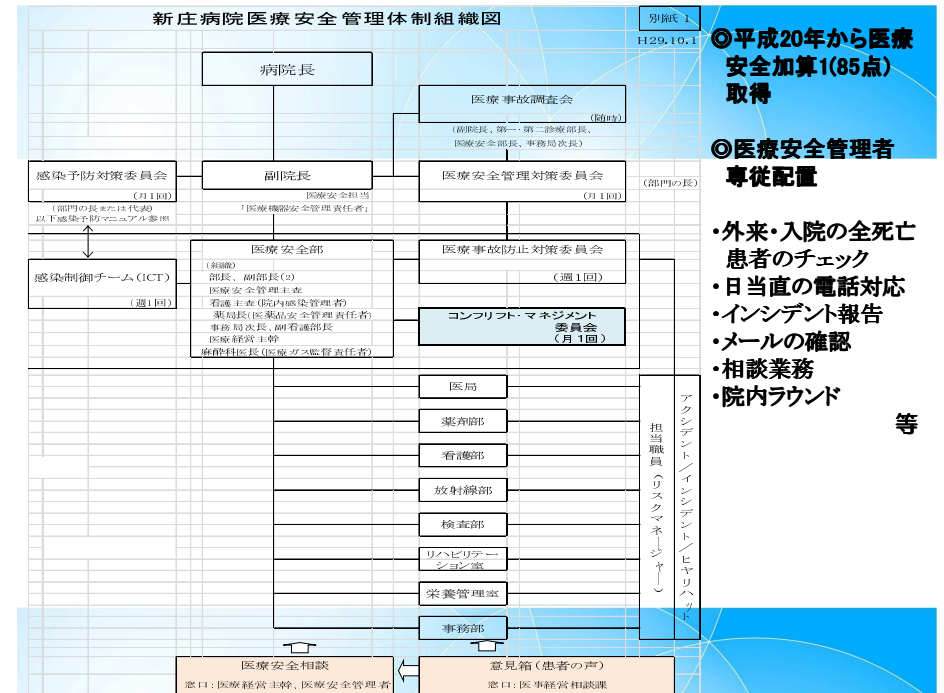
山形県立新庄病院の理念と基本方針

理念

「仁」「愛」「和」のころをもつて、地域住民に信頼と安心を与える医療を提供し、最上二次保健医療圏唯一の中核病院としての使命を果たします。

基本方針

1. 患者とその家族の方々の権利を尊重した患者中心の医療を推進します。
2. 病院機能の充実を図り、医療安全の確保、医療水準の向上に努めます。
3. 地域医療機関と連携を強化し、役割を分担しながら、地域住民の安心を確保します。
4. 良質な医療を提供し続けるため、経営の健全化を図ります。
5. 将来の地域医療を担う医療人の育成に取り組んでいきます。



本日の内容

1. 当院の概要
2. 機能評価受診を受けて
3. インシデント及びアクシデント
4. 看護部の取り組み
5. 他職種との取り組み
6. 地域との共同事例より

今までの機能評価

- ・ V5、V6の2度の機能評価受診



病院の理念を基に

- ・医療安全確保のための組織体制をどうしているか。
- ・医療安全確保のための手順をどう定めているか。
- ・医療安全確保のための活動をどのように行っているか。

機能評価を受診してどう変わったか

- 医療安全に関する組織体制が確立
- 医療安全のマニュアルが整備
- 各セクションが医療安全に関しての取り組みが強化され、問題点の抽出や改善が速やかに行われるように

その後の課題として

組織としての枠組み、活動の評価



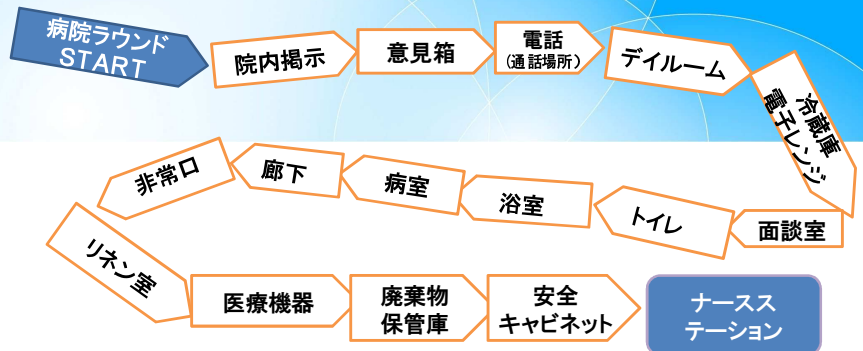
患者さん一人一人に対しどう医療を提供しているのか。

当院受診 → 診断 → 入院・治療 → 外来通院
説明の重要性【判断材料の提示・意思決定支援】

インフォームド・コンセント時の注意点

1. 緊急時以外は説明書をお渡しし
後日、承諾のサインをもらうようにしましょう。
2. 説明書にはアンダーライン等で
説明をした痕跡を残すようにしましょう。
3. 説明後は、カルテにいくつかの
重要な説明したポイントを残すようにしましょう。
4. 最終的に質問が【無かった】という記載が必要です。
患者さんに自己決定ができるような環境を作るようにしましょう。

順天堂大学病院 小林博幸



医療安全管理マニュアルの総論 **安全確認の明確化**

1. 患者誤認の防止
2. 侵襲を伴う検査・治療について
3. 伝達エラー防止手順
4. 安全な手技実施手順
5. 薬剤の安全使用に関する手順
6. ハイリスクな診療行為の実施における手順
7. リスクアセスメントと事前予防策

インフォームド・コンセントの後は

- 医師のIC後、看護師は患者家族の理解の
確認と意思決定の支援について記録
- 薬剤師、リハビリ、栄養士の患者さんとの関わり
の中で、得た情報を記録し、情報の共有
一度決定したことが、変わる可能性もあることを
十分考慮すること。
(特に、DNARなどの治療選択)

インシデント報告

- インシデント報告が必要な事例【合併症】
 - ① 予想内でも患者に実害のある場合
 - ・手術中の他臓器の損傷、出血量が予想より多い場合
 - ・感染症を合併し、入院期間が延長 など
 - ② 患者から苦情がある場合
患者・家族とのコンフリクトの対策を山形県として→医療メディエーションの推進

医師の報告件数

- インシデントレポートの提出
機能評価機構での目標割合

医師からの報告10%

当院の医師の報告割合

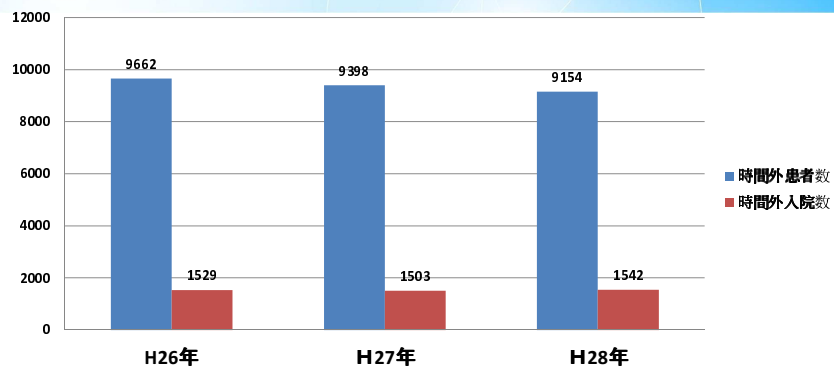
H27年度 1.46%

H28年度 2.29%

本日の内容

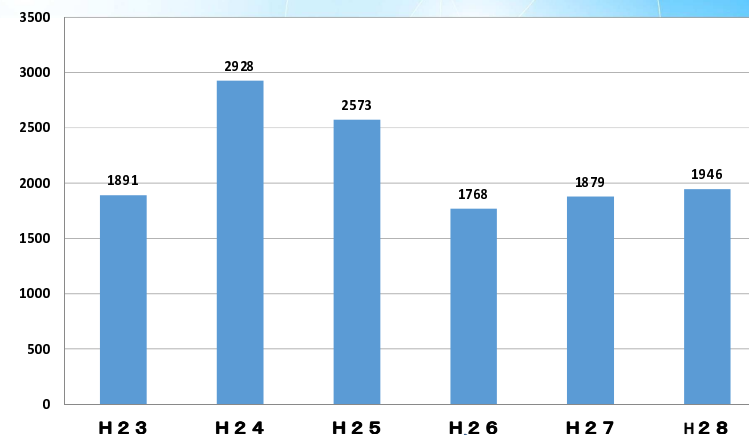
1. 当院の概要
2. 機能評価受診を受けて
3. インシデント及びアクシデント
4. 看護部の取り組み
5. 他職種との取組み
6. 地域との共同事例より

時間外受診患者



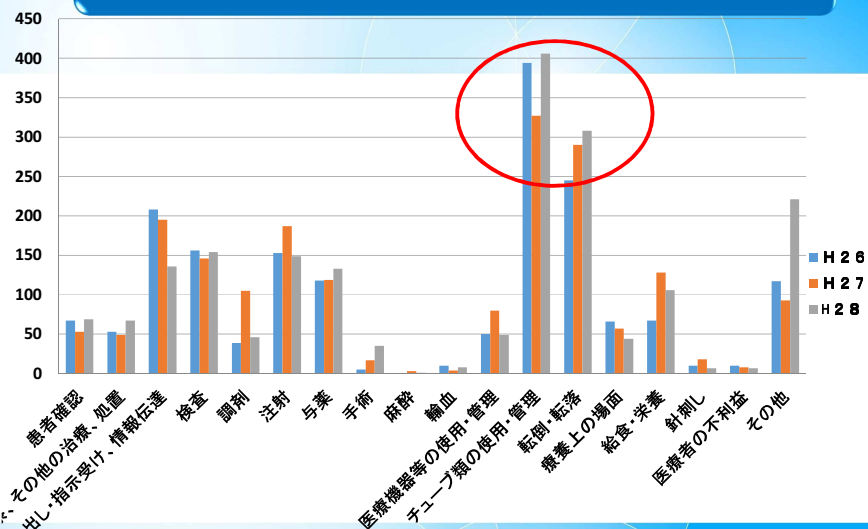
H28年度の救急車照会 2.325件
受け入れ件数 2.211件(99.4%)

アクシデント・インシデント件数

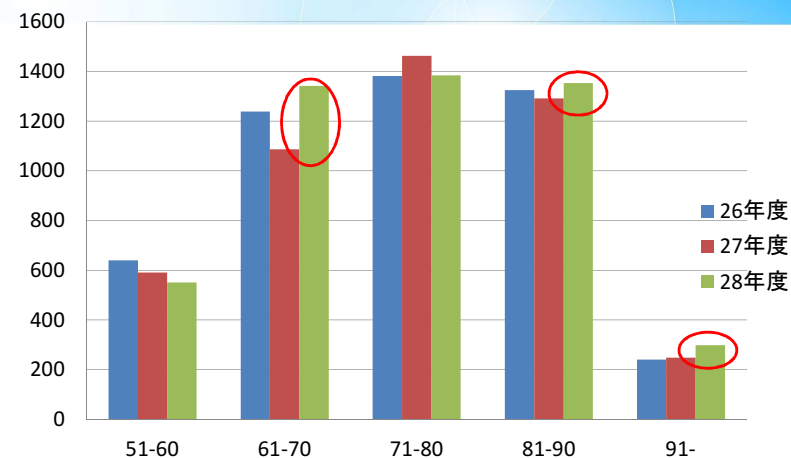


H24: 機能評価受診
H25: 電子カルテ導入
H26: ファントムくん導入

インシデント内容



年齢別入院患者



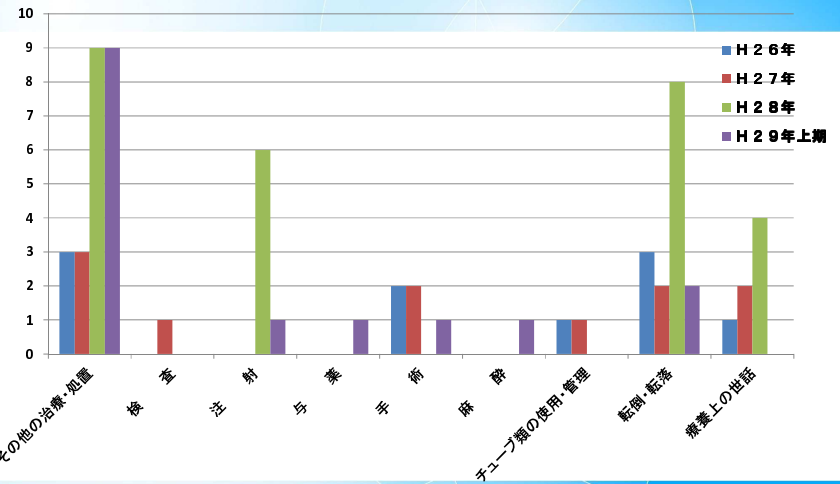
日本看護協会より

【認知・認識、行動・体動スコア】

認知・認識スコア	行動・体動スコア
3: 強い見当意識あり。説明しても理解できない。妄想・幻聴あり。不穏が強い。強い興奮。会話が成立しない。	3: 自傷行為、非常に激しい体動。攻撃的行動、押さえつける必要あり。
2: 見当意識あり、説明すると理解できるが、また間違える。会話にならないことがある。	2: まとまりのない落ちつきのない動き身の回りのことを気にする。目を話す時は注意が必要
1: 一時的な見当意識	1: 危険な行動はないが、問題なしとはいえない。
0: 正常	0: 正常

転倒・転落、チューブ類の使用・管理のインシデントに関係する患者さんは、
スコアの合計が3点以上

レベル3b以上の件数

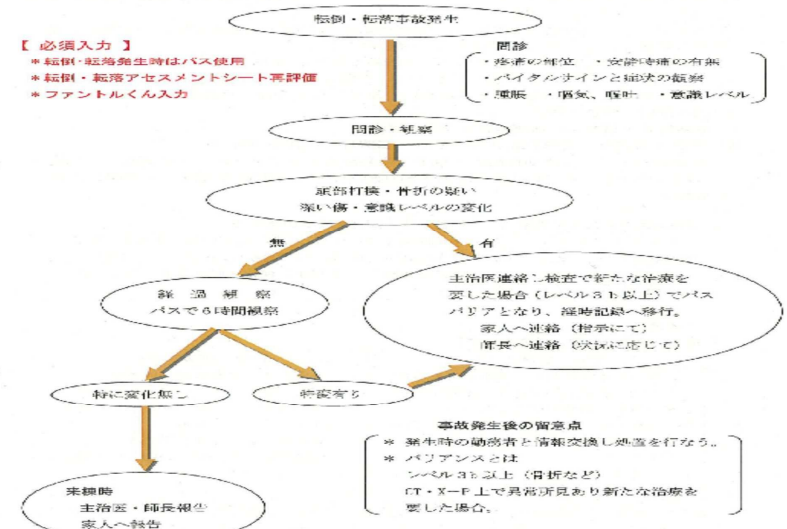


本日の内容

1. 当院の概要
2. 機能評価受診を受けて
3. インシデント及びアクシデント
4. 看護部の取り組み
5. 他職種との取組み
6. 地域との共同事例より

転倒・転落

3 転倒・転落後のフローチャート



転倒転落初期対応パス

発生事由 ○発生日時 年 月 日 :	パス適用基準 【転倒転落した人院患者】
○場所	医療者アウトカム ・転倒転落時早期に対応する ・再発を防ぐため、転倒後予防 対策を講ずる
○具体的状況	バリアンス(脱着) ○CTなどで胸部に異常が認められた場合は インシデントレベル3以上 【フローシート参照】

患者状態	観察時間	転倒直後(:)		転倒後1時間(:)		転倒後3時間(:)		転倒後6時間(:)					
		Bp	P	回/分	Bp	P	回/分	Bp	P	回/分	Bp	P	回/分
	バリアンスの有無	□なし	□あり	□なし	□あり	□なし	□あり	□なし	□あり	□なし	□あり	□なし	□あり
	バイタルサイン(血圧・脈拍)												
	観察項目	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
症状	①意識レベル(JCSで明記)												
	②嘔気・嘔吐	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	③頭痛	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	④けいれん	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
1.受傷部位()	①腫脹	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	②疼痛	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
2.受傷部位()	①腫脹	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	②疼痛	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
検査基準	頭CT	レベル変化や症状②~④のうち1つでもあれば主治医報告後頭CT撮影 症状がなくても頭部打撲の疑いがあり、抗凝固剤・抗血小板剤を内服している又は出血傾向がある場合も同様											
	X-p	受傷部位①と②の症状がある場合は主治医報告後レントゲン撮影											
確認事項	検査	頭CT上異常所見なし	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	内服	抗凝固剤・抗血小板剤使用の有無	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
		出血傾向の有無	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	
		薬頭確認	○インシデントレポート記入 ○インシデントレベル3以上は事故報告書記載 ※切創あり、ステリー使用時はレベル2										
その他の観察事項やケアの実施記録など		○予防具等の必要性の検討											
サイン	医師												
	看護師												

25

薬剤の副作用の周知

FOYの血管外漏出



山形県立新庄病院
YAMAGATA PREFECTURAL SHINJO HOSPITAL

26

末梢血管からの限界量

生食100mlに対し100mg

看護部で周知！

ジェネリック(後発薬剤)の使用の推進が
厚労省より通知

FOY → **ガベキサートメシル酸塩**

山形県立新庄病院
YAMAGATA PREFECTURAL SHINJO HOSPITAL

27

本日の内容

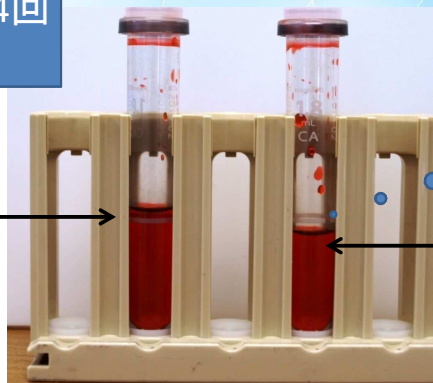
1. 当院の概要
2. 機能評価受診を受けて
3. インシデント及びアクシデント
4. 看護部の取り組み
5. 他職種との取組み
6. 地域との共同事例より

山形県立新庄病院
YAMAGATA PREFECTURAL SHINJO HOSPITAL

28

他職種と

凝固検査で4回も取直し！



0.2mL多い

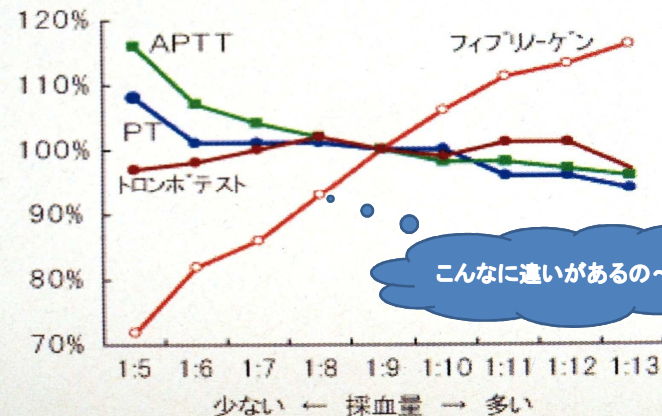
ちょっとした違いじゃない。

内容量は1.8mL (0.2mL少ない)

何度も採血される患者さんは大変！
採血する度に怒られ、謝る看護師は大変！

正確なデータを提供できない検査技師も大変！

図. 1:9を100%としたときの採血量の変化(健常者)

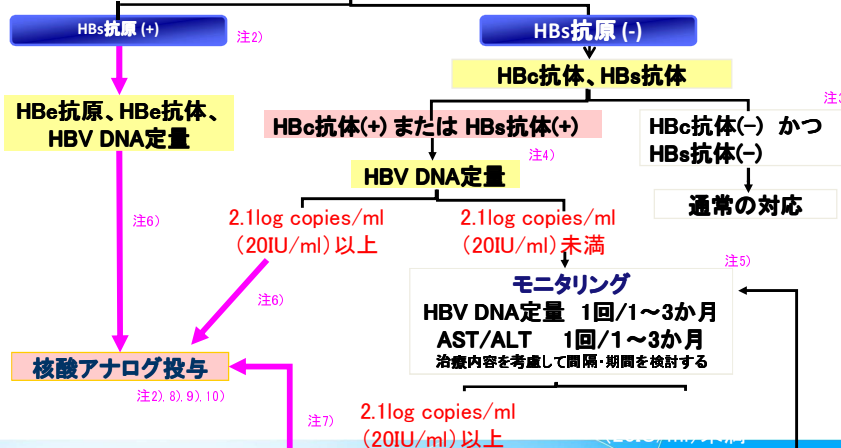


こんなに違いがあるの～

取り直しは激減

免疫抑制・化学療法により発症する B型肝炎対策ガイドライン(2016年5月 改訂版)

スクリーニング(全例)HBs抗原



B型肝炎の受診勧奨

電カル画面に注意喚起の表示

肝炎受診勧奨対象患者です

患者さんへの安心・安全な医療



病院で行う医療で
完結はしない。

安心

安全

地域包括ケアシステムのイメージ



新庄・最上地域での医療安全の連携が必要



ご清聴ありがとうございました。